

## ワークショップ「あなたの考える新発田らしさと文化財」の結果について

新発田市文化財保存活用地域計画の策定のため以下のとおり、市民の皆様の参画を得てワークショップを開催しました。

### 1 ワークショップの目的

新発田市文化財保存活用地域計画を策定するに当たり、指定された文化財だけでなく、日常の景色や料理、風習なども含め、今後、保存活用していく文化財は何かを探るため、また、市民の皆様から意見をいただくため開催。



### 2 ワークショップの開催実績

- (1) 日 時 ①1回目：令和3年 7月10日（土）午後1時30分～午後4時45分  
②2回目：令和3年10月16日（土）午後1時30分～午後4時40分
- (2) 場 所 イクネス新発田 多目的室1
- (3) 対象者 令和3年4月1日現在で20歳以上の新発田市民
- (4) 参加者 ①1回目：10名（公募市民12名のうち2名欠席）  
②2回目：11名（公募市民12名のうち1名欠席）
- (5) 内 容 申込者を4名ごとの3グループに編成し、グループ内で新発田らしさが表れている文化財とその活用等に関して意見をいただいた。

### 3 第1回ワークショップ（7/10開催）の概要

#### (1) 内容

- ① 開会 あいさつ
- ② 新発田市文化財保存活用地域計画の策定に関する説明
- ③ 新潟県文化財保存活用大綱の説明
- ④ 新発田の歴史と文化に関する講和
- ⑤ 新発田市の指定文化財の概要説明
- ⑥ 新発田らしい文化財に関するグループ討議
- ⑦ グループ発表
- ⑧ 閉会 あいさつ



#### (2) グループ発表の内容（市の歴史や文化と関連する場所、モノや人物など）

新発田川、大天城公園とゲンジボタル、市民ギャラリー、西公園、加治城、三日市藩、蒸気パン、越後姫、アスパラ、五十公野の白勢家、井上久助、赤谷線、新発田川の鮎、山の頂上からの景色、空中からの景色、新発田城の石垣、町割り、道割り、大宮講、香伝寺の土塁、滝沢のミズバショウ、椽平の山桜、花嫁という食用菊、各地区の花、美術品、地域住民のための歴史散歩など

## 4 第2回ワークショップ（10/16開催）の概要

### （1）内容

- ① 開会 あいさつ
- ② 前回の振り返り
- ③ 新発田らしい文化財とその活用に関するグループ討議
- ④ グループ発表
- ⑤ まとめ
- ⑥ 閉会 あいさつ

### （2）グループ発表でいただいた意見（文化財や活用方法など）

街中のエリアに文化財がひしめき合っている。新発田川。歴史の団体があり人が豊富。食べ物の掘り起こしが必要。人物の掘り起こしが必要。新発田らしい景色の発信。城下町の町割りをアピールしては。四季折々のイベントを行う。拠点の整備。季節ごとの観光スポットや景観スポットをSNSで発信。観光ルートの整備。観光資源の活用。新発田が270年間溝口氏の支配であったこと。楡形山脈。米作り。茶道。和菓子。新発田・豊浦・紫雲寺・加治川地区の花。聖徳太子の作った太子堂。盆踊り。遺跡。柳沢家1万石。上館陣屋。柳楽稲神社。加治川の川湊。新発田の方言。新発田の里言葉。ホームページの活用。古文書調査。看板の設置。人材や団体のネットワークづくり。市民の文化財への関心をあげてほしい。ツアーづくりなど



## 4 ワークショップの成果

第1回目（7/10開催）において、文化財保存活用地域計画および文化財について説明し、ワークショップの目的を参加者と共有しました。ワークショップでは、ブレインストーミングの手法で、グループ内の参加者から、活発に話をさせていただきました。

第2回目（10/16）の開催は、1回目からある程度の期間をおいて実施しました。参加者に身の周りの文化財を探ってもらった結果、より活発なご意見をいただき、文化財の保存と活用に関する課題や活用方法について、参加者から直接声を聴くことができました。また、市民が考える新発田らしい文化財など率直なご意見をいただくことができました。

## 5 ワークショップの成果の活用

ワークショップの成果の活用については、いただいたご意見を新発田市文化財保存活用地域計画の第3章以降の本文作成の参考にさせていただくほか、必要に応じて、同計画に成果として掲載することなどを検討します。